

橋梁台帳作成要領

1. 台帳作成対象

新設時及び耐荷力等に影響のある補強を行った橋梁。

(土被り 1 m 未満で橋長 2 m 以上の BOX も橋梁として扱う。)

2. 台帳記入方法

(1) 台帳調書

項 目	記入方法
整理番号	路線番号－整理番号の順に記入
道路種別	一般国道，主要地方道，一般県道の別を記入
位置	字名まで記入
事業名又他機関名	橋梁を架けた事業名又は他機関より移管を受けた橋梁についてはその機関名を記入
実施設計年度	当該橋梁の実施設計を行った年度を記入
竣工年月日	当該橋梁の竣工年月日を記入
移管年月日	移管を受けた場合は，移管年月日を記入
請負施工業者名	当該橋梁の施工業者を上部，下部毎に記入
河川名	河川を跨ぐ橋梁について河川名，河川流量，河川改修計画の有無を記入する。なお，河川改修計画の有無は当該橋梁完成時点で記入
道路又は線路を跨ぐ場合	跨ぐ道路，線路名を記入。また，施工委託した場合は委託先を記入
交通量	交通センサスに基づき，各種データを記入する。(完成時の最新値)
交通区分	大型車交通量による設計交通区分を記入する。(アスファルト舗装要綱参照)
D I D	当該橋梁完成時の最新 D I D の区域内か区域外かを記入
地域区分	「山地」，「平地」，「市街地」の別を記入
雪寒・海岸	当該橋梁位置について「雪寒地域」，「海上部」，「海岸線から 1 0 0 m まで」，「海岸線から 1 0 0 m ～ 2 0 0 m」，「その他」の別を記入
適用示方書	適用した示方書の年次を記入
耐震計算	適用した耐震計算の手法を記入
橋種	橋種を記入し，橋梁，BOX の別を当該欄に○印を記入する。(橋種記号一覧表を参照)
橋長	BOX の場合は BOX 長を記入
設計速度	当該橋梁の設計速度を記入
荷重制限	設計において荷重制限があれば荷重制限を記入
斜角	橋台の斜角を起点側，終点側それぞれ記入
最小半径	当該橋梁が曲線橋の場合，最小半径を記入
橋梁部縦断	起点部及び終点部の橋梁部縦断勾配を記入(起点から終点に向かって上り勾配を+，起点から終点に向かって下り勾配を-で表現する。)

高欄・車両用防護柵	車道部，中央分離帯，歩車道境界，歩道それぞれにおける形式，高さ，材質を記入する。なお，高さは路面からの高さを記入
落下物防止柵	左右にある場合または点在している場合の延長は総延長を記入する。遮音壁等も明記する。
支承	材質及び種類を記入
伸縮装置	「ゴム直線型」，「ゴム歯型」，「鋼製直線型」，「鋼製歯型」，「埋設型」，「その他」の中から選択し記入
床版	種類はRC，鋼床版等構造について記入
防水工	防水層の材質は「シート系」，「塗膜系」，「舗装系」の中から選択し記入
舗装工	舗装の種類は車道，歩道それぞれについて記入し，特殊舗装の場合についてはその種類を記入
塗装工	塗装系は鋼道路橋塗装便覧に基づく塗装系列を外面と内面に分けて記入
耐候性橋梁	耐候性橋梁の場合，耐候性鋼材を用いた橋梁またはさび安定処理等を施した橋梁の別を該当欄に○印を記入。なお，さび安定処理等を施した橋梁の橋梁については塗装系，塗装面積等を記入
下部工	橋台，橋脚それぞれについて形式，基礎形式，基礎地盤（土質区分）を記入する。基礎形式等が異なる場合には，別々に記入
添架物	複数存在する場合（計画も含む），それぞれ記入。なお，詳細設計時において荷重考慮されている添架物及び竣工時に設置されている添架物については該当欄に○印を記入
排水装置	柵，排水管について規格材質について記入する。排水管については集水排水，垂れ流し排水の別を記入
踏掛版	踏掛版を設置している場合は，長さ及び厚さを記入
旧橋処理	存置，撤去，移管，なしの別を記入
資材調書	上部工，下部工，基礎工毎に記入
単価調書	上部工，下部工，基礎工毎に記入。 ① 上部工：上部工全体設計金額÷橋面積（地覆部は含めない） ② 下部工：橋台，橋脚毎に記入する。 橋台（もしくは橋脚）設計金額÷躯体立積 ※それぞれ1基当りの平均単価 ③ 杭基礎：杭基礎工設計金額÷杭本数÷杭総延長
事業年次割	各工種別の年度毎の事業費を記入

（2）橋梁一般図

○橋梁一般図：竣工図面をA4判に縮小したもの。

（3）完成写真

○全景：正面，側面 各2枚 計4枚

○下面：桁の状況がわかるよう方向を変えて撮影したもの 2～4枚

- 橋歴板：橋歴板のアップ写真 1枚
- 塗装記録：塗装記録のアップ写真 1枚
- その他：親柱，橋名板，高欄その他 適宜

(4) 位置図

50,000分の1管内図をタテ15cm×ヨコ20cm程度に切り，橋梁の位置を記入の上(2)橋梁一般図の裏面に添付する。

(5) 橋梁詳細資料

以下の図面をA3判に縮小し一冊にまとめる。

- ①平面図
- ②橋梁一般図
- ③主桁構造図
- ④横桁構造図
- ⑤対傾構構造図
- ⑥床版配筋図
- ⑦橋台一般図，配筋図
- ⑧橋脚一般図，配筋図
- ⑨基礎工一般図（杭伏図等）
- ⑩支承構造図
- ⑪伸縮装置構造図
- ⑫落橋防止構造図
- ⑬消融雪装置一般図